土地改良・第283号（第51巻第4号）平成25年10月15日発行（季刊）

水土里豊かな国づくり・土地改良を支える人と技術

―本格化した東日本大震災復興工事―

定川特定災害復旧事業
南区排水機場復旧工事

（東北農政局 仙台東土地改良建設事業所　定川・河南支所）

国営定川土地改良事業（S46完了）により整備され、農地の排水を担ってきた5箇所の排水機場が、東北地方太平洋沖地震による激しい揺れと大津波により、排水機能に壊滅的な被害を受けました。

被災した排水機場は、平成23年度に応急復旧を行いましたが、地震による地盤沈下により、排水機能の低下が著しいことから、平成24年度より本格的な復旧工事が進められています。

本復旧工事は、南区排水機場を新たに築造するもので、平成25年1月に着工、平成26年3月の完成を目指しています。

工事の内容は、機場本体工（コンクリートV＝630㎥、基礎杭（PHC杭）N＝37本）、上屋建築、樋門・樋管工（プレキャストボックスカルバート（B2.2×H2.2m）L＝15.3m）及び護岸工（ブロック積み護岸L＝106m）等を施工し、排水機能を回復させるものです。

工事は、基礎杭打設中に可燃性ガスが漏出し、工程に影響が出たことから、残業及び休日作業の実施により、工程の回復を図っているところです。

今後は、機械設備との調整で工程に制約を受けながらの施工となりますが、来春の供用開始を待ち望んでいる地域住人の期待に答えられるよう、作業所一丸となって取り組んでまいります。

niiya michiyuki
新谷　道行　　りんかい日産建設㈱　定川南作業所長

LICA
一般社団法人　土地改良建設協会
Land Improvement Construction Association of Japan